

市内22の「地域自治組織」は間もなく「年度更新」の時期。 支援センターは「新しいサポートメニュー」で応援します！

市内22地区に「地域自治組織」が設立され間もなく1年。平成27年度から平成28年度への「年度更新」を迎えようとしています。行政からはこれに必要な各種書類作成や手続きに関するアナウンスも始まりました。そこで、「地域自治組織」稼動時に「簡易会計ソフト」等「業務支援アプリ」を提供してきた支援センターも、「地域自治組織初」の「年度更新」を支援すべく「新しいサポートメニュー」を開発しましたので、報告します。

「簡易会計ソフト」をバージョンアップ。「金銭出納帳入力」だけで「実績報告」「収支報告」の書類作成もOK！

今回のバージョンアップで「伊達市地域自治組織活動支援交付金」事業報告様式への出力機能を追加しました。出力したものはそのまま事業報告に使用できます。

会計ソフトの金銭出納帳に年度内すべての収益・費用を入力すれば、交付金使用事業の報告に必要な6書類のうち、

- ①「補助事業等実績報告書」 ②金銭出納帳
- ③事業全体の「収支決算書」 ④全事業の「事業実績書」
- ⑤事業別「活動報告書・収支決算書」

が伊達市様式に合わせ数字が自動集計されます。これらへ事業内容や説明などを追加記入後に印刷、

⑥「領収書の写し」を追加するだけで事業報告ができます。

そのほかにも使用する会計勘定科目の解説や金銭出納帳の行削除機能など役立つ機能を追加しています。

新しい「簡易会計ソフトV2.5」を提供するだけでなく3月には「年度更新・出前サポート」を実施します！

交付金事業報告に必ず役立つ「簡易会計ソフト Ver.2.5」は、希望する自治組織へメールで配布を予定しています。メール環境がない、インストールができないなどパソコン環境上のトラブルや、各自治組織に合わせた会計上のサポートを行うため「年度更新・出前サポート」を3月に実施します。パソコンで作業しながらのサポートとなりますので一度「簡易会計ソフト」を使用しスタートメニューの手順に従って入力を試してください。

会計上の処理には独特の方法がありますので、前回の訪問サポートを利用していない自治組織さんも、この機会に「年度更新・出前サポート」をお申し込みください。

「年度更新・出前サポート」の詳細は裏面でご紹介！

自治組織・簡易会計システムver2.5

メニュー

手順 **記入欄** 各項目の記入欄(左側)に入力していきます。金銭出納帳に毎日の記録を記入するだけで、自動集計された台帳、計算書から全事業を確認できます。

1. 初期設定に入力する

- 組織が行う事業・予算を入力 ⇒ **初期入力へ⇒**
- 補助入力:** 収支計算書で予算を配分する ⇒ **収支計算書へ⇒**
詳細な予算を入力することで事業の進捗状況が把握できます。

2. 現金出納帳に入力する

- 使用する科目を確認・追加する ⇒ **勘定科目一覧へ⇒** 科目一覧
- 使用する摘要を確認・追加する ⇒ **摘要一覧へ⇒**
- 金銭出納帳に日々の記録をつける ⇒ **金銭出納帳へ⇒**

3. 組織が行う事業を把握する

- 収支計算書を確認 A3で印刷 ⇒ **管理費あり⇒** **なし⇒**

← 簡易会計システムスタートメニュー・手順に従って記入欄に入力するだけ

平成28年度4月からの稼働を目指し 後続の地域自治組織も設立総会開催！

今月2月21日(日) 霊山町山野川地区で「山野川地区自治協議会設立総会」が開催されました。来月1日には霊山町掛田地区も地域自治組織設立総会開催を予定、どちらの地区も来年度当初4月からの稼働を目指し、組織体制づくりを進めています。



↑山野川地区自治協議会の設立総会・集合写真

3月は「地域自治組織」の「年度更新」を「出前サポート」！ 新アプリの「インストールから操作方法まで」支援します！

パソコンにエクセルが入っていて、動かせる方が居れば「簡易会計ソフト」未導入の「地域自治組織」でもOK!

簡易会計ソフトは表計算ソフトの「エクセル」を利用して作成しました。「エクセル」がインストールされているウィンドウズのパソコンがあれば、すべての機能を利用できます。できれば「エクセル」操作に慣れている方が入力を担当してください。

ソフトは1事業年度につき1つのファイルで作業します。元のファイルから作業用フォルダ(デスクトップなど)に、「本年度作業用ファイル」としてコピー・起動できます。

収支計算の出力は、手順に従い簡単な【初期設定】入力と【金銭出納帳】入力が必要です。また旧ソフトを利用している場合は、データ移行が必要です。自治組織によって実施事業や出納帳への入力項目には大きな違いがあり、「年度更新」時に必要な会計処理も変わってまいります。「年度更新・出前サポート」では、各地域自治組織に合わせた会計処理だけでなく、インストールからパソコン操作まで、年度末作業すべてのサポートを行います。

「初期設定」と「金銭出納帳」入力が正確なら、それだけで「実績報告書」も「収支報告書」も打ち出せます!

【初期設定】

1. 初期設定で組織が行う全事業を登録する。
2. 事業ごとの予算(収益・費用)を科目別に設定する。
交付金申請時の予算を参考にしてください。

【金銭出納帳へ入力】(入力例:下画像)

1. 金銭の動きで収入か支出に「金額」を入力する。
2. 項目がどの「科目」にあたるか登録科目から選択。
3. 発生した「日付」、どの「事業」で使用したか、この項目は「交付金使用」部分か自主財源にあたるのか仕訳。
以上の、「初期設定」「金銭出納帳」への入力が”正しく”できていれば、それだけで「実績報告書」、「収支計算書」が事業別に打ち出せます。

”インストールできない”など簡易会計ソフトのトラブル、
年度内に費用をまとめる会計上の【年度更新】方法など
各自治組織に合わせた
「年度更新・出前サポート」
を3月に実施します!

新アプリの利用ご希望は、以下のアドレスへ「団体名」「担当者名」「電話連絡先」を本文に記入しメール送信してください。返信メールで新アプリを提供いたします。

bz004492@date-civilsupport.jp

または支援センター公式HPの「お問い合わせ」↓から

○金銭出納帳の入力例1

行納期	科目別決算書	科目	収入	支出	残高	繰入金	事業ごとに分配	行納期	保留
平成30年4月10日	4 受取助成金		2,000,000		2,000,000		出納40円	事業1	0
平成30年4月10日	4 受取助成金		400,000		2,400,000		出納40円	事業1	0
平成30年4月27日	17 経費品費			15,000	2,385,000	文具費		事業1	0
平成30年5月10日	10 給料半端			220,000	2,165,000	給料半端(個人負担)	4月分	事業1	0
平成30年5月10日	116 賃料			2,080,400	2,080,000	社会福祉科(個人負担)	4月分	事業1	0
平成30年5月10日	116 賃料			2,080,400	2,080,000	社会福祉科	個人負担分	事業1	0
平成30年5月10日	116 賃料			1,200	2,080,000	給与連戻金	4月分	事業1	0

注: 振り金は給料半端(総額)から差し引いて個別に口座へもどす。社会保険・労働保険、所得税源泉徴収有り。例は3人分: 同じ科目でまとめ。

↑金銭出納帳の画面入力例・助成金受取と給料支払いの場合

「年度更新・出前サポート」がご希望の地域自治組織さんは、
お電話で **024-583-2800** 支援センター にご予約下さい!

「支援センター」は「地域自治組織運営を技術面でサポート」

「地域自治組織の主役は地域住民」です。これを名実ともに実現するには、地域住民が当事者として「地域課題を洗い出し」「課題解決のアイデアや夢を出し合い地域づくり計画に仕上げ」その実現部隊としての「地域自治組織」を「編成・立ち上げ・運営」していく必要があります。「伊達市市民活動支援センター」は市内各地域での自治組織立ち上げ支援実績を生かし、設立・稼働を含めその全工程をサポートしています。お気軽にご相談ください。

伊達市市民活動支援センター

電話番号: 024-583-2800 FAX: 024-583-2820

○開館: 毎週・火～日曜(月曜休館)

午前9時～午後6時

伊達ふれあいセンター3階まで

